1. 今井二丁目一号橋

極沙女, 听在地, 管理老女 笙

倘采石, 加仕吧, 官理有名寺						
捧沙 夕	P校 绘 夕	胎		およる 権度	35°26′29.00″ 橋梁ID	橋梁ID
ウ米 型		전 보기		を 経度 接度	139° 58′ 26.00″	139° 58′ 26.00″ 35.44139,139.97389
今井二丁目一号橋 (フリガナ)イマイニチョウメイチゴウバシ	長浦4号線	袖ケ浦市長浦580-77地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	道 緊急輸送道路	緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2022.12.2	今井背後水路	. 单	—般道		#
			l			
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	tの診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	タンド(株) 漆畑 雄一朗

定期点検時に	こ記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I ~ IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	計 桁	Ι					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		п	: 一砂詰まり	写真1 支承本体101			
その他		п	腐食、欠損、土砂!	土砂 写真2~4 伸縮,排水装置			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I 〜IV) 定期点検時に記録

(所見等) (判定区分) \vdash

副圖

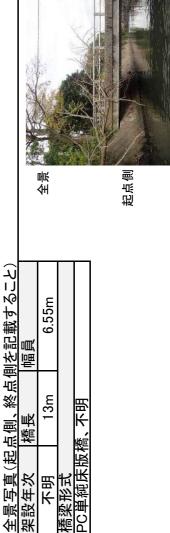
橘辰

架設年次 不明 橋梁形式

13m

PC単純床版橋、不明

支承部に土砂詰まりが見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。







田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

腐食, 変形・欠損 変形・欠損 Ej02 Do02 伸縮装置 排水管 その他(伸縮装置) 【判定区分: [判定区分 その他(排水管) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 土砂詰まり 土砂詰まり Dr01 Bh101 排水ます 支承本体 判定区分: その他(排水ます) 写真3 写真1

1 - 2

2. 蔵波居下橋

橋梁名·昕在批·管理者名等

隔梁名·						
梅 沙 夕	1枚 40 夕	叶		およる 権力	33.00"	橋梁ID
10000000000000000000000000000000000000		의/ IT NO	<u>- </u>	に 照	36.00″	139° 58' 36.00" 35.4425,139.97667
蔵波居下橋 (フリガナ)クラナミインタバシ	長浦8号線	袖ケ浦市長浦580-179地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	道路	緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2022.12.2	今井背後水路	- 单	—般道	411	半

定期点検者 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗

定期点検時	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		п	上砂詰まり	写真1 支承本体101			
その他		п	凹凸、変形·欠損等	凹凸、変形·欠損等 写真2~4 伸縮,舗装,排水管			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

定期点検時に記録

判定区分) (所見等)

支承部に土砂詰まりが見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	6.53m		
橋長	13m		香 不明
架設年次	不明	橋梁形式	コの単純床版料



終点側



田田

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

腐食, 防食機能の劣化 変形・欠損 E j02 伸縮装置 Dp01 排水管 その他(伸縮装置) [判定区分 その他(排水管) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 路面の凹凸 土砂詰まり Pm01 Bh101 雏羰 支承本体 (判定区分: その他(舗装) 写真3 写真1

3. 今井二丁目二号橋

別紙2 様式1様式2

にたせ, 他田サク舟 奉沙 夕.

ペン・かせ地・官埋有名寺						
安	1女幼夕	叶		お と 個 緯度	35°26′38.00″ 橋梁ID	橋梁ID
→ →	五字白	71 1 T 1 U		たいぎ 経度	139° 58′ 50.00″	139° 58′ 50.00″ 35.44389,139.98056
今井二丁目二号橋 (フロガナ)イマイーチョウィーゴウキョウ	今井二丁目5号線	袖ケ浦市長浦580-99地先				
(イングン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2022.12.14	今井背後水路	甲	一般道		#
 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	もの診断結果を記入)			定期点検者	開発売ノ門コンサルタンド株)漆畑	などに株)漆畑 雄一郎

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

		1 1 1 2				[
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I ~ IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		п	土砂詰まり	写真1 支承本体201			
その他		п	四凸、変形・欠損等 写真2~	写真2~4 伸縮、舗装、排水管			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV)

定期点検時に記録

(所見等) 判定区分) 支承部に土砂詰まりが見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	6.54m		
橋長	13m		5. 不明
架設年次	不明	橋梁形式	PC単純床版料





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。



4. 今井二丁目三号橋

様式1様式2 別紙2

橋梁名	亲							
括沙 夕		40000000000000000000000000000000000000	叶			緯度	35° 26′ 43.00″	橋梁ID
1		T Xei da	리 I I				139°59′00.00″	35.44528,139.98333
今井二丁目三号橋 (フリガナ)イマイニチョウメサンゴウキョウ	サンゴウキョウ	今井二丁目1号線	袖ケ浦市今井2丁目1地先					
管理者名		定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道		緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市		2022.12.2	今井背後水路	有	一 般道			#
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	こ最も厳しい健全性	の診断結果を記入)			定期点検者		開発虎ノ門コンサルタンド株)	ひて(株) 漆塩 雄一郎
定期点検時に記録				応急措置後に記録	己録			
部材名	判定区分 (I ~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 (-記計)	備考(写真番号、 位置等が分かる - ライー記書)	応急措置後の 判定区分	後の 小	予	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日

ように記載)

(に記載)

横桁 床版

計

上部構造

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真2~4 防護柵,舗装,排水管

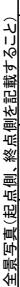
腐食、欠損等

土砂詰まり

 \blacksquare \blacksquare

写真1 支承本体101

支承部に土砂詰まりが見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。 \blacksquare



幅員	6.01m		
橋長	13m		喬、不明
架設年次	不明	橋梁形式	PC単純床版枠





終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

腐食, 防食機能の劣化 腐食,防食機能の劣化 D₀01 防護柵 Gf01 その他(防護柵) [判定区分 その他(排水管) [判定区分 排水管 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 路面の凹凸 土砂詰まり Pm01 Bh101 雏茶 支承本体 (判定区分: その他(舗装) 写真3 写真1

5. 坂戸市場観音谷橋

橋梁名·所在地·管理者名等

倘采名"炘仕吧"官姓有名寺						
括	40 40 40	昨	# -	日日	35°25′59.00" 橋梁ID	橋梁ID
		71 H 76	<u> </u>	-	139° 56′ 57.00″	7.00" 35.43306,139.94917
坂戸市場観音谷橋	一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一一	幼ケ渚末垢 百末桿79−1批 生				
(フリガナ)サカドイチバカンノンタニバシ		1世7 7周11300 1130 1250 1150 75				
管理者名	定期点検実施年月日 路下条	路下条件	代替路の有無 自	自専道or一般道	[緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2022.12.11	奈良輪第一雨水幹線	有	—般道		#

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗

定期点検者

定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	п	剥離 鉄筋露出	写真1			
	横桁						
	床版						
下部構造		I					
支承部		I					
その他		п	いいの回切	写真2 舗装01			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

定期点検時に記録

(所見等) 判定区分)

 \blacksquare

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

副二

橘辰

3.60 m

3m

人 思 架設年次

橋梁形式

PC単純床版橋、不明

主桁端部に鉄筋露出が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。



終点側



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

路面の凹凸 Pm01 雏装 その他(舗装) [判定区分: 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 上部構造(主桁)【判定区分: II】 | 写真2 剥離·鉄筋露出 Mg04干芥 判定区分

6. 飯富上池下橋

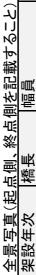
別紙2 様式1様式2

杨沙女, 昕在地, 饰钿夹女笠

倘采名"	击						
捧沙夕		1女 4台 夕			おら 個 権度	35° 25′ 12.00″	橋梁ID
10000000000000000000000000000000000000		五字石	리스 HT IC		に 解度	139° 59′ 34.00″	35.42,139.99278
飯富上池下橋 (フリガナ)イイトミカミイケンタバシ	グバシ	飯富上泉線	袖ケ浦市飯富2366地先				
管理者名		定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市		2022.12.1	川河	-	一般道		半
() はる車袋淵湾の神る勢()	- 晨丰,僦二,7健全性	の診断結単を討み)		0-	宁期占格者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	十二十五元 A O X B O X B -			応急措置後に記録	(条) (本)		
部材名	判定区分 (I~Ⅳ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。



15.30m 1985年 11m 標 橋梁形式 現場打ちボックスカルバート





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

類 禁干 その街

頂版 側壁 底版

溝橋(ボックス カルバート)本

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

7. 大橋

別紙2 様式1様式2 梅沙々. 昨左帖. 等钼老夕等

橋梁名 마孔	橋梁名	(法						
标沙 夕			收绝夕			おら側 緯度	35°24′23.00″ 橋梁ID	橋梁ID
14年			IT 10X 시끄	27.17.16.1		严 經度	140° 02′ 05.00″	140° 02′ 05.00″ 35.40639,140.03472
大橋 (フリガナ)オオハシ	トオハシ		上泉18号線	袖ケ浦市永地1474地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.13	松川	有	—般道		不明
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	ゴニ記録				応急措置後に記録	己录		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桥	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障が生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
1991年	34m	5.00m
橋梁形式		

PC単純プレテンT桁橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚1基





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その街

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

8. 昭和橋

別紙2 様式1様式2

杨沙女, 听在地, 他用夹夕笙

倘采名•						
 	4000年の	胎	/ ¥ #	富	35°24′17.00″ 橋梁ID	橋梁ID
信米石		アバルエ	귀 _	^{灬侧} 経度	140° 02′ 03.00″	140° 02' 03.00" 35.40472,140.03417
昭和橋		袖ケ浦市永 地80-1 地朱				
[(フリガナ)ショウワバシ		H / /H / / / / / / / / / / / / / / / /				
管理者名	定期点検実施年月日 路下	路下条件	代替路の有無 自	専道or一般道	緊急輸送道路	緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.1.12	松川	有 ————————————————————————————————————	般道		不明

部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断*	に最も厳しい健全性	の診断結果を記入)		定期点検者	6者 開発虎ノ門コンサルタンド(株)	ナンタンド(株) 漆笛 雄一郎
定期点検時に記録				応急措置後に記録		
部村夕	判定区分	変状の種類	備考(写真番号、 休置年が分れる	応急措置後の	实力提器 加多	応急措置及び

部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(与具番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		п	腐食、脱落、凹凸 等	写真1~3 防護柵,舗装,排水管			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I 〜IV) 定期点検時に記録

(所見等) 判定区分) 排水管に孔食を伴う腐食、防護柵にボルトの脱落、舗装に凹凸が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

門員	2.00m		
橋長			
架設年次	1990年	橋梁形式	

PC単純プレテン中空床版橋、逆T式橋台2基、張出式橋脚1基







起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

路面の凹凸 Pm01 雏茶 その他(舗装) 【判定区分: 判定区分 写真2 腐食、防食機能の劣化 ゆるみ・脱落 GF01 防護柵 **D**p02 【判定区分: (判定区分 排水管 その他(排水管) その他(防護柵) 写真3 写真1

9. 野里塩辛橋

極沙女, 听在地, 管理老女 笙

橋架名· 加仕	橋架名·	5 축						
椅梁名			路線名	所在地		起点側 緯度	35° 23′ 42.00″	橋梁ID 35 395 140 03889
野里塩辛橋 (フリガナ)ノ-	野里塩辛橋 (フリガナ)ノザトシオカラバシ		横田8号線	袖ケ浦市野里463-1地先		<u>X</u>		
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.1	平岡大排水路	有	— 般道		#
部材単位の意	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	3.金录		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

舗装の異常、欠損、土砂 写真1,2 舗装01、写真3 その他

 \blacksquare

舗装にひびわれ、土砂堆積、視線誘導標に欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

恒員	2.75m		
橋長	5m		喬、不明
架設年次	不明	橋梁形式	RC単純床版格





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

东版

Pm01 土砂詰まり 雏茶 その他(舗装) 【判定区分: 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 変形・欠損 Pm01 舗装の異常 その他(視線誘導標) 雏茶 【判定区分 その他(その他) 写真3 写真1

9 - 2

10. 川原井扇淵橋

別紙2 様式1様式2 接渉々 売左地 無理

橋梁名·所在	橋梁名·所在地·管理者名等	7等						
極浮名			路線名			起占個 緯度	,,	
1 ★ □				27 IV		后	140° 04′ 05.00″)" 35.41444,140.06806
川原井扇淵橋 (フリガナ)カワ	原井扇淵橋 (フリガナ)カワハライオウギフチバシ	ギフチバシ	川原井5号線	袖ケ浦市川原井1597地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	9道 緊急輸送道路	络 占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.17	松川	有	—般道		上水道
部材単位の高	诊断(各部材每	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサ	開発虎ノ門コンサルタント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 (I ∼IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	炎の う	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	п	ひびわれ、鉄筋露出、うき 2	写真1,2 主桁01				
	横桁							
	床版							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

舗装の欠損、凹凸 |写真3,4 舗装01

 \blacksquare

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

副圖

橋長

架設年次

3.23m

2m

不明

RC単純床版橋、不明

橋梁形式

主桁に鉄筋露出、ひびわれ等が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。 \vdash



終点側



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

うき 路面の凹凸 剥離・鉄筋露出 Pm01 舗装 主桥 Mg01 上部構造(主桁) [判定区分 [判定区分 その他(舗装) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 ひびわれ その他(舗装の欠損) Mg01 干 Pm01 【判定区分 舗装 その他(舗装) 写真3 写真1

11. 台橋

極沙女, 听在地, 管理老女 笙

简架名• m c	備架名· /] 축						
括沙夕			120 44 42	昨 左 抽		おら側 緯度	35° 22′ 51.00″	橋梁ID
₩			나 첫 나	카보다			140° 02′ 06.00″	140° 02′ 06.00″ 35.38083,140.035
台橋 (フリガナ)ダイバシ	「イバシ		百目木下内橋線	袖ケ浦市百目木182地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	5 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.1.19	武田川	-			不明
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(条部材毎に最き厳し、健全性の診断結里を訂え)	の診断結果を討入)		<u> </u>	定期点梅者	開発虎ノ門コンサルタンド株)漆畑	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	<u>。</u>		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		心急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 防護柵、写真2 舗装

脱落、凹凸

 \blacksquare

防護柵にナットの脱落、舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 副圖 橘辰 架設年次

8.00m PC単純プレナン床版橋、不明 17m 不明 橋梁形式





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

横桁 床版

路面の凹凸 Pm01 雏装 その他(舗装) 【判定区分: 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(防護柵)【判定区分: II】 | 写真2 ゆるみ・脱落 GF01 判定区分

12. 百目木芝山橋

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等]等						
橋梁名			路線名	所在地		起点側續度	22′	橋梁ID
						校反	140 02 37.00	35.38056,140.04361
百目木芝山橋 (フリガナ)ドウ	百目木芝山橋 (フリガナ)ドウメキシバヤマバシ	マバシ	百目木1号線	袖ケ浦市百目木1168-4地先				
管理者名			定期点検実施年月日	1 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.14	武田川	有	—般道		
部材単位の記	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		- 1	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 (I ~ I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

腐食、舗装の異常等 |写真1~4 伸縮,舗装,排水装置

 \blacksquare

伸縮装置に欠損、変形、排水管に孔食を伴う腐食が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

帽員	6.00m		不明
橋長	10m		ン床版橋、
架設年次	不明	橋梁形式	PC単純プレテ





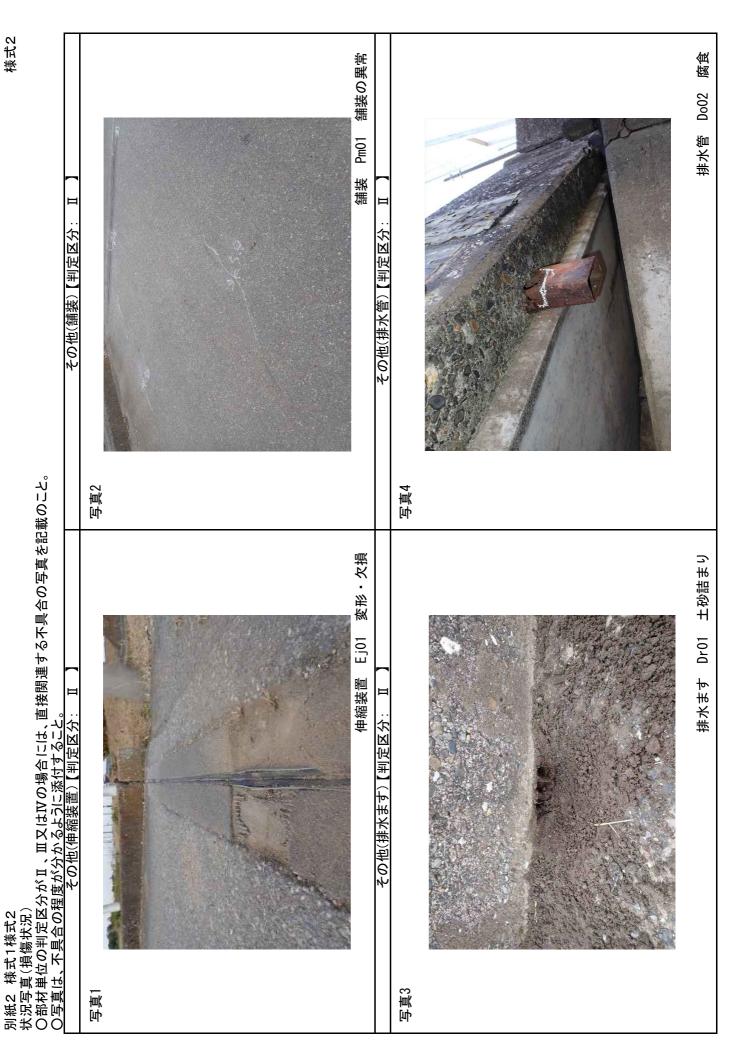
田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他



13. 常盤橋

別紙2 様式1様式2 梅莎夕. 昨左帖. 善語 多夕年

橋梁名 所	橋梁名·所在地·管理者名等	7等						
椅梁名			路線名	所在地	112	起点側 緯度 経度	35° 22′ 35.00″ 140° 02′ 14.00″	橋梁ID 35.37639,140.03722
常盤橋 (フリガナ)トキワバシ	キワバシ		百目木下内橋線	袖ケ浦市百目木630地先	-	_		
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.14	三口報	有	-般道		水道管
部材単位の)診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>וול</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	うに記録				応急措置後に記録	銢		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

欠損、舗装の異常 |写真1 伸縮装置、写真2 舗装

 \blacksquare

伸縮装置に欠損、舗装の異常が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	5.23m			
橋長	6m		氰、不明	
架設年次	1972年	橋梁形式	RC単純床版科	





田田

起点侧

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

|舗装の異常 Pm01 舗装 その他(舗装) [判定区分 判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(伸縮装置)【判定区分: II】 | 変形・欠損 Ej01 伸縮装置 判定区分

14. 吉野田高田橋

橋梁名 所在	橋梁名•所在地•管理者名等	7等						
季沙 夕			改绰夕			神 岩側 権度	35° 21′ 56.00″	橋梁ID
₩ 			교 개에 그			是 解度	140° 00′ 35.00″	35.36556,140.00972
吉野田高田橋 (フリガナ)ヨシ	吉野田高田橋 (フリガナ)ヨシノダタカダ <i>バシ</i>	(3)	吉野田3号線	袖ケ浦市吉野田206-5地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道の一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.14	植水川	有	東硎—		不明
部材単位の意	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)漆畑	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる よいに記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	П		写真1 主桁01				
	横桁	I						
	床版	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

脱落、路面の凹凸 |写真4~6 防護柵,伸縮,舗装 腐食、変形・欠損 写真3 アンカーボルト201

写真2 竪壁01

土砂堆積

 \blacksquare \blacksquare

 \blacksquare

析端部の鋼部材に腐食等が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。



帽貝	2.50m		
倚坛	10m		桁、不明
笨眨牛火	上	橋梁形式	:鳃東納H型翻:







田田

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

Gf02 ゆるみ・脱落 その他(土砂堆積) Ac01 防護柵 竪壁 下部構造【判定区分 (判定区分 その他(防護柵) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 Ba201 腐食,変形・欠損 腐食,防食機能の劣化 主桥 Mg01 アンカーボルト 判定区分: 支承部 写真3 写真1

Pm01 路面の凹凸 雏茶 その他(舗装) 【判定区分: 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真6 路面の凹凸 E j02 伸縮装置 判定区分 写真5

15. 長作橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等] (余						
棒沙久			路線名		n=	記 神 中 相	35° 21′ 45.00″	橋梁ID
1 ★ □				27. IV			140° 00′ 29.00″	35.3625,140.00806
長作橋 (フリガナ)ナガサクバシ	ガサクバシ		上宮田1号線	袖ケ浦市吉野田123地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.15	槍水川	有			不明
部材単位の調	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u> </u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド株)漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	绿		
部材名		(Ⅵ~Ⅰ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	ш	腐食	写真1 主桁03				
	横桁	ш	腐食	写真2 横桁01				
	床版	ш	腐食、欠損	写真3 床版01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

*鍋部材に板厚減少を伴う*腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から早期に措置を講ずべき状態である。 Ħ

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	福市	冒回
不明	5m	4.00m
橋梁形式		
鋼床版単純H	析橋、不明	





起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

写真4 アンカーボルト102

写真7 竪壁01

土砂堆積

腐食

目 目

凹凸、脱落、漏水 写真5,6 伸縮装置02

爾爾 爾爾 Ba102 Cr01 横桁 アンカーボルト 上部構造(横桁) [判定区分 支承部【判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 爾爾 腐食、欠損 Mg03干 Ds02 东版 判定区分 上部構造(床版) 写真3 写真1

15 - 2

路面の凹凸 Ej02 伸縮装置 その他(伸縮装置) [判定区分: 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真6 その他(エラスタイトの脱落)、漏水・滞水 その他(土砂堆積) Ac01 下部構造【判定区分: 竪礕 E j02 伸縮装置 写真5 写真3

16. 宮田橋

別紙2 様式1様式2 梅沙々. 昨左帖. 等钼老夕等

橋梁名 所名	橋梁名·所在地·管理者名等	亲						
橋梁名			路線名	所在地		起点側整度	35°21′24.00″情梁ID	35°21′24.00″ 橋梁ID
						莊及	140 00 44.00	33.33007,140.01222
宮田橋 (フリガナ)≡ヤタバシ	ヤタバシ		黎田 宮田田吳上	袖ケ浦市下宮田87-3地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.13	槍水川	卢	一般道		水道管
部材単位の	診断(各部材毎)		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	1. 数		
部材名		判定区分 (I~Ⅳ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	上 木	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 舗装01

路面の凹凸

 \blacksquare

舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	2.00m		红式橋台2基
橋長	19m		ンT桁橋、逆
架設年次	1996年	橋梁形式	PC単純プレテ





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 路面の凹凸 舗装 Pm01 判定区分 その他(舗装) 写真1

17. 扇渕橋

橋梁名•所在地•管理者名等						
梅 沙夕	1枚 40 夕	叶 女 担		おら 個 権度	35°24′53.00″ 橋梁ID	橋梁ID
1	14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.14.1	의 III		K		40° 03′ 58.00″ 35.41472,140.06611
扇渕橋 (フリガナ)オオギブチバシ	川原井金堀台線	袖ケ浦市川原井56-1地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一船	般道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2022.12.14	ШЖ	有	—般道		用水管、電力管
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	/タンド(株) 漆畑 雄一朗
小 			时二二沙田井女士	חקר		

		1 1 1 2 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	/ ハロリンコーロー・コートリング			[
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		(Ⅱ~Ⅰ) (Ⅱ~Ⅰ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	上 桥	Ι					
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造		П	土砂堆積	写真1 竪壁01			
支承部		П	土砂詰まり	写真1 支承本体101			
その色		п	上砂詰まり	写真2 舗装、写真3 排水ます			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

橋台、支承本体に土砂詰まりが見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。 \vdash

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

10.10m 副圖 14m PC単純T桁橋、不明 橘质 1991年 架設年次 喬梁形式





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

土砂詰まり Pm01 舗装 その他(舗装) 【判定区分: 判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 その他(土砂堆積) 土砂詰まり Dr01 Ac01 排水ます Bh101 土砂詰まり、竪壁 [判定区分 その他(排水ます) 支承本体 写真3 写真1

18. 上泉跨道橋

体沙夕, 比大地, 他田 夕 年

倘架名·						
接	女 申 ₹ 4 4	胎	-++	およる 緯度	35°25′26.00″ 橋梁ID	橋梁ID
5 米 1		의·보기		5年間 経度	140° 02′ 41.00″	140° 02′ 41.00″ 35.42389,140.04472
上泉跨道橋 (フリガナ)カミイズミコドウキョウ	飯富上泉線	袖ケ浦市上泉1764-120地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道		緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.1.16	主要地方道 千葉鴨川線	-	—般道		不明
	:の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサル	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗
定期占格時に討錄			広負 措置後 討錦	鬼		

定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι					
	横桁	Ι					
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		п	土砂詰まり	写真1~3 舗装,排水装置			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

排水管全体に土砂詰まり、点検時に打音で確認)、排水ます、舗装に土砂詰まりが見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。



幅員	9.00m		扩式橋台2基
橋長	40m		ンT桁橋、近
架設年次	2001年	橋梁形式	PC単純ポステ



田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

土砂詰まり Dr01 排水ます その他(排水ます) [判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 土砂詰まり Dp02 土砂詰まり Pm01 排水管 雏茶 (判定区分 その他(排水管) 写真3 写真1

19. 宮田大橋

別紙2 様式1様式2 棒渉な 影かれ 無理

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	批			,			
椅梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 21′ 41.00″ 140° 00′ 36.00″	橋梁ID 35.36139.140.01
宮田大橋 (フリガナ)≅*	宮田大橋 (フリガナ)ミヤタオオハシ		吉野田上宮田線	袖ケ浦市下宮田30-2地先	-			
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.13	槍水川	声	— 般道		電力管
部材単位の言	诊断(各部材每	に最も厳しい健全性	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)		<u> </u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド株)漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	1.		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁	I						
	床版	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

漏水、欠損、土砂 |写真1~4 伸縮,舗装,排水管

 \blacksquare

伸縮装置に欠損、漏水、排水管のジョイント部に欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。



架設牛次	喬卡	唱画
1998年	119m	10.00m
橋梁形式		
網9%開油為新好棒,網3%開油為新好棒	农門油结船が接	おおお 其の子科・





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

下部構造 支承部 その他

変形・欠損 変形・欠損 E j02 D₀01 排水管 伸縮装置 その他(伸縮装置) [判定区分: 【判定区分 その他(排水管) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 漏水·滞水 土砂詰まり E j02 Pm02 雏装 伸縮装置 【判定区分: その他(舗装) その他(伸縮装置) 写真3 写真1

20. 高須臨海橋

橋梁名 所	橋梁名·所在地·管理者名等	1等						
唇沙名			路線名			起占側 緯度	,97	橋梁ID
1 ★ □				25 T 15		/ 	139° 57′ 27.00″	35.44111,139.9575
高須臨海橋 (フリガナ)タ	高須臨海橋 (フリガナ)タカスリンカイバシ	(i)	高須南袖自転車道紛 <mark>袖ケ浦</mark>	i網袖 ケ浦市奈良輪2457-2地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.23	東京湾	有	一般道		水道管
部材単位の)診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	打に記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分 (I ~ I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	计	I						
	横桁	I						
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I 〜IV) 定期点検時に記録

変形、舗装の異常等 |写真1~6 伸縮装置,舗装

 \blacksquare

伸縮装置から桁下への漏水、ゴム材の欠損、舗装にひびわれ、欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。 (所見等) (判定区分)



鋼床版鈑桁橋(下路式)、逆T式橋台2基





国出

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

舗装の異常(欠損) 漏水·滞水 E j01 Pm01 伸縮装置 舗装 判定区分 その他(伸縮装置) その他(舗装) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 変形・欠損 変形・欠損、漏水・滞水 E j01 伸縮装置 伸縮装置 Ej01 その他(伸縮装置) [判定区分 写真3 写真1

その他(植生) Pm01 舗装 その他(舗装) [判定区分 判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II文はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真6 舗装の異常(ひびわれ) 舗装 Pm01 判定区分 写真5

21. 三俣橋

別紙2 様式1様式2 接渉々 売左地 無理

橋梁名•						
接	40 40 40	叶 华		おら 帰 権度	35°25′07.00″ 橋梁ID	橋梁ID
信米石	斯冰石	의· IT (건		たい 経度	139° 57′ 21.00″	139° 57' 21.00" 35.41861,139.95583
三俣橋 (フリガナ)ミツマタバシ	神納フ号線	袖ケ浦市神納1284-1地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下条件	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道		緊急輸送道路 占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.1.12	川旦武	有	一般道		大男
	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサル	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑 雄一朗

部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株) 漆畑	タンド(株) 漆畑 雄一郎
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	井	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I 〜IV) 定期点検時に記録

(所見等) 判定区分) 道路橋の機能に支障は生じていない状態である。



PC単純ポステン中空床版橋、逆T式橋台2基 6.00m 36m 1998年 **橋梁形式**





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

22. 神納一号跨道橋

橋梁名 所在	橋梁名 所在地 管理者名等	5等						
吞沙夕			12久40 夕			およる 権度	35° 25′ 34.00″	橋梁ID
11年			IFE 비% 'T	到されば			139° 58′ 35.00″	35.42611,139.97639
神納一号跨道橋 (フリガナ)カンノ	道橋 シノウイチゴロ		神納19号線	袖ケ浦市神納2879地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	道緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.11	代宿神納線	声			不明
	1111					÷		!
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点筷者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	3録		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	п	剥離・鉄筋露出、うき 写真1、2	写真1、2 主桁01				
	横桁							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

脱落、路面の凹凸 |写真3 防護柵、写真4 舗装

 \blacksquare

 \blacksquare

主桁にうき、鉄筋露出が見られる。道路橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 架設年次 1 体 E

			_
幅員	4.00m		橋台2基、壁式橋脚2基
橋長	47m		ピラーメン橋、小
架設年次	1995年	喬梁 形式	bC斜材付変形 π型ラーメン橋、小橋台2基、





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

床版

上部構造(主桁) [判定区分

写真2

別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

写真1



うき たたき落としを実施したが落ちなかった。 剥離·鉄筋露出、 Mg01 ※つずは、

判定区分

その他(防護柵)



うき たたき落としを実施したが落ちなかった。 剥離·鉄筋露出、 Mg01 (判定区分 计 その他(舗装) ※つずは、





ゆるみ・脱落 GF02 防護柵

路面の凹凸

Pm01

舗装

写真3

23. 神納二号跨道橋

別紙2 様式1様式2

楠梁名· Pr4	橋梁名 마在地 管理者名等	**!						
橋梁名			路線名	所在地		起点側接度	25′	橋梁ID
						作 提	139 58 31.00	31.00 35.42639,139.97528
神約二号 跨道橋 (フリガナ)カンノ	華納二号跨道橋 (フリガナ)カンノウニゴウコドウキョウ	コドウキョウ	神納19号線	袖ケ浦市神納2957-9地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.11	南袖大野台線	.	—般道		不明
部材単位の)診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u> </u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	引い記録				応急措置後に記録	立金子		
部材名		判定区分(I)	変状の種類 (エ以上の場合 (こ記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	井	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

欠損、土砂詰まり|写真1伸縮装置、写真2舗装

 \blacksquare

舗装に土砂詰まり、伸縮装置のシール材に欠損が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	恒員
1999年	36m	4.00m
橋梁形式		
PC斜材付変形 π型ラーメン橋、	-	小橋台2基、壁式橋脚2基





起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

土砂詰まり Pm01 舗装 その他(舗装) [判定区分: 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がI、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 変形・欠損 Ej01 伸縮装置 判定区分 写真1

24. 新富橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名·所在地·管理者名等

倘采石"加住吧"官理自石寺						
括	なもを	叶	***	おら側 権度	35°24′41.00″ 橋梁ID	橋梁ID
K		의 II 기	<u> </u>			139° 59′ 25.00″ 35.41139,139.99028
新富橋 (フリガナ)シントミバシ	飯富30号線	袖ケ浦市飯富1635-1地先				
管理者名	定期点検実施年月日 路下	路下条件	保替路の有無	自専道or一般道	道 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市	2023.1.12	川旦志	-	—般道		不明

定期点検者 開発虎ノ門コンサルタンド株) 漆畑 雄一朗 | 部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)

<u>}</u>		エピュートングロロニュキーはの終り、6月1日の一般では、1月1日の一般では、1月1日日の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の一番の			エくまると	I	
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I					
	横桁						
	床版	I					
下部構造		I					
支承部		I					
その他		I					

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I 〜IX) 定期点検時に記録

判定区分) (所見等)

[| 道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 架設年次 | 橋長 | 幅員 |

本設士公 18以 14以 6.50m2001年 18m 6.50m橋梁形式 PC単純プレテン中空床版橋、不明





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

25. ボックスカルバート⑥

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	,等						
橋梁名			路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 24′ 37.00″ 140° 00′ 33.00″	橋梁ID 35.41028.140.00917
ボックスカルバート⑥ (フリガナ)ボックスカ)	ボックスカルバート⑥ (フリガナ) ボックスカルバートロク	-F0 <i>7</i>	飯富22号線	袖ケ浦市大曽根391地先		<u>{</u>		
管理者名			定期点検実施年月日	1 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.1	水路	本			#
部材単位の副	診断(各部材毎		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	などに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	五金		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ι						
	横桁							
	床版							
25		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 架設年次 | 橋長 | | | | | | | | |

幅員	7.20m		
橋長	4m		喬、不明
架設年次	上	橋梁形式	RC単純床版料





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その街

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

26. ボックスカルバート⑤

極沙女, 昕左帖, 篼珥老夕笙

杨梁名· 吹在地· 管埋有名等	埋石名等						
橋梁名		路線名	所在地		起点側 緯度 経度	35° 24′ 59.00″ 139° 59′ 32.00″	橋梁ID 35.41639,139.99222
ボックスカルバート⑤ (フリガナ)ボックスカルバートゴ	⑤ カルバートゴ	飯富29号線	袖ケ浦市飯富1635-1地先				
管理者名		定期点検実施年月日 路下条件	1 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市		2022.12.1	大路	声	一般道		#
部材単位の診断(名	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	ミの診断結果を記入)		- `	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド株)漆笛 雄一郎
定期点検時に記録				応急措置後に記録	3.金录		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
溝橋(ボックス 頂版 + 1. ジェンキ	I						
ない トン 側壁体	Ι						
底版	I						
	/						

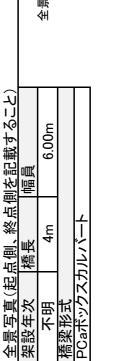
道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 舗装01

舗装の異常

 \blacksquare

舗装にひびわれが見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。







終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

翼權 禁干 その街

判定区分 別紙2様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 その他(舗装)【判定区分: II】 舗装の異常 Pm01 舗装 判定区分

27. ボックスカルバート①

別紙2 様式1様式2 棒変名・所在地・管理者名等

巵米 名• FD 在	倘然名。	#5						
棒孪名			路線名			起占側 緯度	,97	
1			1 86 14			// 	139° 57′ 40.00″	35.43917,139.96111
ボックスカルバート① (フリガナ)ボックスカルバートイチ	バート① ックスカルバ	ートイチ	奈良輪22号線	袖ケ浦市奈良輪2520地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.15	奈良輪第一雨水幹線	有	一般道		上水道
部材単位の記	诊断(各部材每	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	己録		
部材名		判定区分(I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
溝橋(ボックスナーバー)	頂版	Ι						
4 (マード)本	側壁	Ι						
	底版	Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	Зm	7.85m
橋梁形式		
現場打ちボッ	クスカルバー	+





田田

起点側より

終点側

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

類 禁干 その街

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

28. ボックスカルバート②

極沙女, 听在地, 管理老女 笙

備架名, m 仕地, 官埋有名寺	吧。官理有名	5 축							
唇沙 夕			 股總名			拉占側		35° 26′ 20.00″	橋梁ID
18 X 1				記して			経度	139° 57′ 43.00″	35.43889,139.96194
ボックスカルバート② (フリガナ)ボックスカルバートニ	バート② ックスカルバ	17	奈良輪22号線	袖ケ浦市奈良輪2523-6地先					
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	1 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道		緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.15	奈良輪第一雨水幹線	声	— 般道			上水道、ガス
					L				
部材単位の記	诊断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者		開発虎ノ門コンサルタント(株)	ないに株)漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	3.録			
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分	£0	応急	応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
溝橋(ボックス カニバート)キ	頂版	I							
★	側壁	Ι							

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

13.40m 副圖
 不明
 6m

 橋梁形式
 現場打ちボックスカルバート
 橋長 架設年次



田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

類 禁干 その街

底版

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

29. (仮称) 袖海 1 号線

橋梁名 所名	橋梁名·所在地·管理者名等	1等						
季沙 夕			及绝及			およる 権度	35° 26′ 08.00″	橋梁ID
₽ ₩			#F II/W 7그	94十.177		に 版 経度	139° 57′ 23.00″	35.43556,139.95639
(仮称)袖海1号線 (フリガナ)(カショヴ	1号線 カショウ)ソデロ	(仮称)袖海1号線 (フリガナ)(カショウ)ソデウミイチゴウセン	袖ケ浦駅北口線	袖ケ浦市奈良輪1610地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自專道or一般道	首 緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.5	奈良輪第一雨水幹線	有	—般道		汚水管、ガス管、 水道管
部材単位の	診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己鍒		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	土桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

22.00m 副二 橋長 架設年次





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

30. (仮称) 袖海2号線

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	7等						
楠梁名			路線名	所在地		起点側線車	35° 26′ 04.00″	橋梁ID 35 43444 139 05306
(仮称)袖海2号線(フリガナ)(カショ	2号線 カショウ)ンデ	(仮称)袖海2号線 (フリガナ)(カショウ)ソデウミニゴウセン	南袖神納線	袖ケ浦市奈良輪1701地先		<u> </u>		, t
管理者名			定期点検実施年月日	1 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.12	奈良輪第一雨水幹線	卓	— 粉道		水道管
部材単位の	診断(各部材毎		の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	己欽		
部材名		判定区分 (I ~ I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
○ 下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること) 萺軕 橋長 架設年次

 2013年
 11m
 20.00m

 橋梁形式
 複合門型ラーメン橋、RC壁式橋台2基





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

31. (仮称) 袖海3号線

橋梁名 所名	橋梁名 ·	金!						
棒孪名			路線名	肝在抽		起占側 緯度	35°26′06.00″橋梁ID	橋梁ID
1						产	139° 57′ 17.00″	57' 17.00" 35.435,139.95472
(仮称)袖海3号線 (フリガナ)(カショヴ	3号線 カショウ)ソデr	(仮称)袖海3号線 (フリガナ)(カショウ)ソデウミサンゴウセン		袖ケ浦駅海側114号 4袖ケ浦市奈良輪1687地先				
管理者名			定期点検実施年月日	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	[緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.12	奈良輪第一雨水幹線	卓	一般道		無
如料黑件	100年(女生)	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	0 珍能绘画表記 3)			宁期占烧来	開発をノ門コンサルタンド株	ない 大株) 漆畑 雄一間
に加上体性に討線		日 田田 八〇〇〇 路つ	ンプロ子はより		広今塔署後 討録	AC.WJ.MM.AS.日 日金哥		4 T
アンジン	ノロコラ				ランショータン	//		
部材名		判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備者(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	十 左	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

写真1 舗装01

路面の凹凸

舗装に段差が見られるが、道路橋の機能に支障は生じていない状態である。



		橋梁形式
6.00r	11m	2013年
幅員	橋長	架設年次

H鋼桁埋込RC複合門形ラーメン橋、単列杭基礎形式橋台2基



起点側



起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 路面の凹凸 Pm01 雏羰 判定区分 写真1

32. (仮称) 袖海 4 号線

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	集						
吞沙夕			收約夕			おら 標度	35° 26′ 02.00″	橋梁ID
₽			그 것이 되게	카노니		尼	139° 57′ 06.00″	35.43389,139.95167
(仮称)袖海4号線 (フリガナ)(カショウ	4号線 Jショウ)ンデヴ	(仮称)袖海4号線 (フリガナ)(カショウ)ソデウミヨンゴウセン	袖ケ浦駅海側124号	袖ケ浦駅海側124号約袖ケ浦市奈良輪1701地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	3 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	[緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.12	奈良輪第一雨水幹線	有	—般道		#
部材単位の記	诊断(各部材毎	こ最も厳しい健全性	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタント(株)	タンド(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	こ記録				応急措置後に記録	J.缺		
部材名		判定区分 (I~Ⅳ)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
溝橋(ボックス+1- バート)キ	頂版	I						
4 (本) (本)	側壁	I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) ((所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	4.00m		(
橋長	9m		トニ次製品
架設年次	2015年	橋梁形式	門型カルバー



田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

左翼 禁干 その街

側壁 底版

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

33. 林熊野橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所	橋梁名·所在地·管理者名等]等						
唇沙 名			路線名			記 存 標度	35° 24′ 03.00″	橋梁ID
1						后	140° 04′ 30.00″	35.40083,140.075
林熊野橋 (フリガナ)	林熊野橋 (フリガナ)ハヤシクマノハシ	ふ	林2号線	袖ケ浦市林670地先				
管理者名			定期点検実施年月日 路下条件	1 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2022.12.14	松川	有	一般道		ポリエチレン管
部材単位の)診断(各部材毎	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)			定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	打に記録				応急措置後に記録	己录		
部材名		判定区分 (I~I)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後の 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	I						
	横桁							
	床版	I						
下部構造		I						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

幅員	0.00m		台2基
橋長	11m		氰、逆T式橋·
架設年次	2016年	橋梁形式	PC単純床版棉





田田

起点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

34. 向岱跨道橋

別紙2 様式1様式2 棒渉タ 脂充地 無阻

	改编夕			打 合 個 韓度	35° 24′ 28.00″	橋梁ID
	HW. TH	27 L		三	140° 02′ 31.00″	35.40778,140.04194
句岱跨道橋 ⟨フリガナ⟩ムコウダイコドウキョウ	市道上泉24号線	袖ケ浦市上泉731地先				
	定期点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
	2023.1.16	主要地方道千葉鴨川線	有	—般道		
部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>ux</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド(株)	タント(株) 漆畑 雄一朗
			応急措置後に記録] 禁		
判定区分 (I~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後 判定区分		引措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
I						
I						
I						
I						
	判定区分 (I~I) I I I		変状の種類(エ以上の場合)	変状の種類 備考(与具番号、 (エ以上の場合 位置等が分かる に記載) ように記載)	変状の種類 備考(写具番号、 (I以上の場合 位置等が分かる に記載) ように記載)	変状の種類 備考(与具番号、 (エ以上の場合 位置等が分かる に記載) ように記載)

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) |(所見等)

道路橋の機能に支障は生じていない状態である。

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

	唱員
2015年 30m	m 2.00m
橋梁形式	
PC単純ポータルラーメン橋	·メン橋、逆T式橋台2基





田田

終点側

起点側より

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

判定区分 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 【判定区分: 】 判定区分:

35. 槍水橋側道橋

別紙2 様式1様式2

橋梁名 所在	橋梁名·所在地·管理者名等	美						
吞沙女			12久40 夕			お と 棚 権度	35° 22′ 33.85″	橋梁ID
₽ 			古 学 石	17 H 76	<u> </u>	に	140° 00′ 55.29″	35.37606,140.01533
縮水橋側道橋 (フリガナ) ヤリ	愴水橋側道橋 (フリガナ)ヤリミズハシンクドウキョウ	ンドウキョウ	吉野田4号線	袖ケ浦市吉野田588-2地先				
管理者名			定期点検実施年月日	日 路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
袖ケ浦市			2023.1.16	樟水川	-	一般道		#
部材単位の言	診断(各部材毎)	部材単位の診断(各部材毎に最も厳しい健全性の診断結果を記入)	の診断結果を記入)		<u>n≺</u>	定期点検者	開発虎ノ門コンサルタンド株)漆畑	タント(株) 漆畑 雄一朗
定期点検時に記録	に記録				応急措置後に記録	,		
部材名		判定区分 (I ~IV)	変状の種類 (エ以上の場合 に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	応急措置後 <i>の</i> 判定区分		応急措置内容	応急措置及び 判定実施年月日
上部構造	主桁	Ш	ひびわれ、鉄筋露出、うき「	写真1 主桁01 写真2 主桁02				
	横桁	Ι						

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I ~IV) 定期点検時に記録 (判定区分) [(所見等)

Ħ

主桁にひびわれ、鉄筋露出、うき、支承部に著しい腐食が見られる。橋梁構造の安全性の観点から早期に措置を講ずることが望ましい状態である。

쌞

写真7~10 排水管、護岸

腐食、欠損

腐食

Ħ 目

写真4 支承本体101

写真6 竪壁02 写真3 床版01

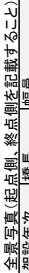
鉄筋露出

 \blacksquare

剥離·鉄筋露出

Ħ

床版



帽貝	3.50m		(想定)
倚長	13m		r式橋台2基(想
架設牛次	中0961	橋梁形式	RCT桁橋、逆-





※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

支承部 その他

下部構造

ながわれ 爾儉 Bh101 主桥 Mg01 支承本体 上部構造(主桁) 【判定区分: 支承部 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真2 写真4 うき 剥離・鉄筋露出、漏水・帯水 主桁 MgO1 ひびわれ、剥離・鉄筋露出、 【判定区分: Ds01 床版 上部構造(主桁) 写真3 写真1

その他(土砂流入箇所) 剥離・鉄筋露出 **A**p02 変形・欠損、 **婟**躃 下部構造【判定区分 Ww02 その他(袖擁壁) 袖擁壁 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、IIIXの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真6 写真8 腐飲 剥離・鉄筋露出 **D**p02 排水管 Fg02 地覆 判定区分 その他(排水管) 写真5 写真7

35 - 3

変形・欠損 護岸 (A2側) 判定区分 その他(護岸) 別紙2 様式1様式2 状況写真(損傷状況) 〇部材単位の判定区分がII、II又はIVの場合には、直接関連する不具合の写真を記載のこと。 〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。 写真10 変形・欠損 護岸(A2側) 写真9